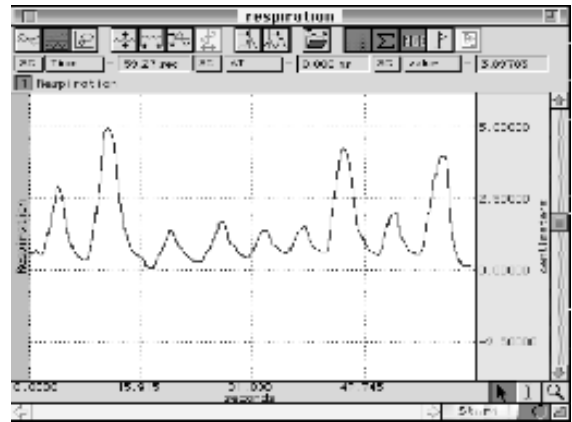
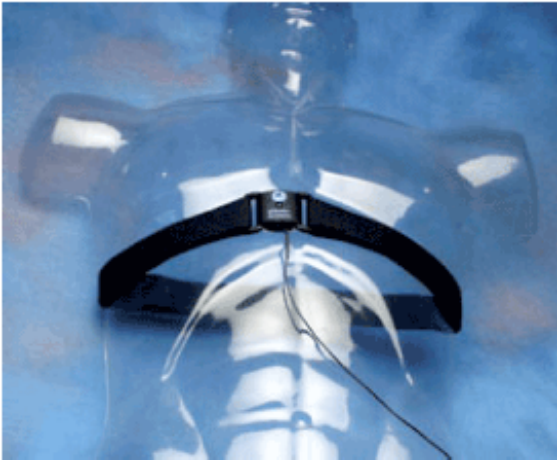


### TSD201 呼吸トランスデューサ



安静時のサンプルデータ

TSD201 は、胸部または腹部周囲での呼吸曲線を測定するために設計された歪みゲージトランスデューサです。呼吸曲線を記録するのに使用することが可能です。TSD201 は抵抗性トランスデューサで、張力の変化に応じて直線的に動きます。

トランスデューサは動きへの影響を最小限に抑え、非常に目立たないため、様々な用途に適しています。その特徴的な構造によって、TSD201 は優れた直線性と最小限のヒステリシスを維持しながら、信号の損失もなく、非常にゆっくりとした呼吸パターンも測定することが可能です。

TSD201 は、RSP100C アンプに直接接続します。TSD201 には周長（15cm～130cm）が広範囲に対応する調節可能なナイロンベルトが付属します。TSD201 を取り付けるには、トランスデューサのスロットにベルトを通し、ストラップを固定します。最も胸囲（腹囲）が変化する位置にトランスデューサを取付けます。この位置は、直立か仰臥位でも変化します。（一般的には脇の約 5cm 下です。）

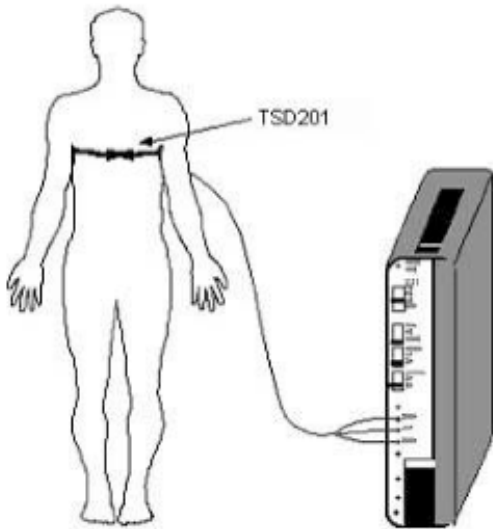
呼吸トランスデューサの正しい張力調整が重要となります。最適な計測のためにトランスデューサは、最小の外周（最大呼気）の時点からわずかに締める必要があります。適切な張力を得るには、ベルトを伸ばした状態で被験者は息を吐き出します。最大呼気の時点でナイロンストラップを調整することで、胸の周りでストラップを保持するわずかな張力があります。適切な動作のためには、トランスデューサに張力が常にかかっている必要があります。

トランスデューサには、アンプに接続するための 1.5mm タッチブルーフコネクタが 3 つあります。青いリード線のトランスデューサピンプラグ 2 つを、XDCR とラベルが付いている 2 台の RSP100C に挿入します。どちらの青色リード線も XDCR のどちらにでも接続することが可能です。RSP100C の GND に残りの黒いリード線を挿入します。これで呼吸トランスデューサは測定の準備が整いました。導電部（金属部分）が被験者に

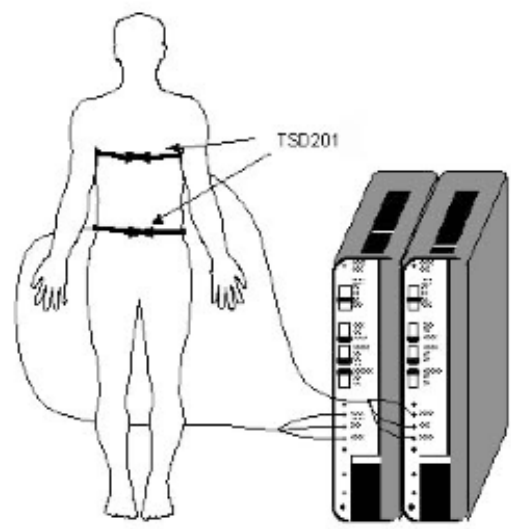
接触しないようにしてください。

MRI アプリケーションに関しては、TSD221-MRI 呼吸トランスデューサもご参照ください。

## 配置と接続



TSD201 呼吸トランスデューサを 1 つ使用



TSD201 呼吸トランスデューサを 2 つ使用

### 胸囲と腹囲の呼吸測定の TSD201 の位置と接続

## TSD201 のキャリブレーション

TSD201 はキャリブレーションの必要がありません。

## TSD201 の仕様

DC 応答 :	有
可変抵抗出力 :	5~125K $\Omega$ (長さが増すにつれて増加)
円周範囲 :	15cm×150cm (ロングストラップにて延長可)
アタッチメント :	Velcro®ストラップ (長さ調節可)
MRI 互換 :	有
滅菌 :	有 (詳細はゼロシーセブン株式会社にお問い合わせください)
センサ重量 :	18g
センサ寸法 :	66mm (長さ) × 40mm (幅) × 15mm (厚さ)
ケーブル長 :	3m
インターフェース :	RSP100C
TEL100C との互換性 :	SS5B
周波数応答 :	DC-500Hz
動作湿度範囲 :	0~95% (結露しない)
動作温度範囲 :	-20°C~+80°C

感度 : 胸部/腹部の伸縮に加えて、胸腔内の心臓の運動を検出できます。